

「花火三部作」教材の価値

新潟県長岡市立大河津小学校

教頭 平出 久美子

いつも素敵な楽曲を提供してくださる弓削田健介先生が、新潟県長岡市や石川県能登半島の「花火」をイメージした楽曲を3曲つくってくださいました。花火への思い、平和や復興への思い、被災した人々への思い…子どもたちの学びや考え方は学校・学年・個人により異なりますが、一人一人の思いを言葉にして弓削田健介先生に送りました。子どもたちの思いを紡いで、弓削田先生が歌詞や曲想に反映してくださり、素敵な楽曲ができたことに感謝しています。音楽発表会等で歌うことはもちろん、普段の授業で教材として活用できる楽曲です。

【ゆめはなび】（低学年・特別支援学級向け）

<1小節から>

順次進行で旋律が上昇していくことで、花火が始まる前の気持ちの高まりが表現されている。4小節目の弾んだりリズムの和音は、歌への意欲とみんなの気持ちを一気に高めて歌い始めることができる。

<5小節から>

タッカの弾んだリズムの旋律と伴奏で、「ゆめはなび」が打ちあがるわくわく感や、気持ちの高まりを表現しやすい。子どもたちが自然とスキップをしたり、歌に合わせて体を動かしたりしながら、音楽を全身で味わい親しみをもって歌うことができる。また、「5・4・3・2・1!」のカウントダウンは、声の音色を変えて元気いっぱいの声で、花火打ち上げ前の高まる思いを表現することができる。

<13小節から>

順次進行で旋律が上昇していくことにより、花火が上がる様子が表現されている。「ヒューン」「キラキラ」などの擬音語や擬態語は、子どもたちが「このように歌いたい」という思いをもちやすい。歌詞に合わせて声の音色や歌い方を変えたり、楽器で表現したいという思いが生まれたりする。自分の思いをどのように表現するか、下記のように、思考力・判断力・表現力を高めながら表現する楽しさを味わうことができる。

「小さなたねがヒューン」

- ・花火が空に上がっていく感じに、始めは弱く優しく歌いたい！
- ・ヒューンは鉄琴の低い音から高い音にしたら、花火が上がる様子が表現できそうだ！

「大きな夢がドーン」

- ・花火が大きく開くように、夢が叶うように、力強く明るい声で歌おう！
- ・大きな夢と花火が花開くように、大太鼓を強く打ちたい！

「光の拍手パンパンパン」

- ・何色もの光の花火が次々に花開くように、上下に拍手をしながら歌おう！
- ・花火の光をタンブリンで細かく打とう！鈴も入れたらさらに華やかになりそうだ！

「笑顔の星がキラキラキラ」

- ・花火を見ている人の笑顔の様子を、手をキラキラと振りながら明るい声で歌おう！
- ・キラキラの笑顔と花火の様子を、ツリーチャイムで表現したい！

<17小節から>

最後の歌詞「は・な・び」は休符が入り、リズムとテンポがよく、みんなの思いを「ゆめはなび」の歌詞にのせて楽しく歌い上げることができる。

【HANABI】（小学校中学年向け）



<1小節から>

テンポ 140 の速さと 16 分音符の旋律が上昇し、弾んだリズムにつながる前奏は、花火を楽しみに、心待ちにしている人々の気持ちが伝わってくる。左手の伴奏は、低音域と高音域が交互のリズムで、ワクワク・ドキドキした気持ちの高揚感、自然と体を動かしたくなるノリのよさが、歌への意欲を高めていく。

<8小節から>

順次進行の斉唱でどの学年の子どもたちにも、安定して歌いやすい旋律になっている。

歌詞②「僕らの命もきらめく夢はなび」は、一人一人の命と、一つ一つの花火のきらめきとを対比しながら、想像力豊かに歌うことができる。

<17小節から>

リズムの変化があり、低音域で自分の心の内にある花火と照らし合わせている。

「瞳をとじても心に咲いている」は、伴奏が静かで心の内を省みることができる。

<25小節から>

順次進行の掛け合いで、2部合唱初心者の中学年の子どもにも容易に合唱ができる。高音の旋律を伸ばしている所に、低音の旋律が重なり、次々に花火が打ちあがるスターマインの様子を表現できる。

旋律の上昇から花火が打ち上がる様子、「舞い上がれ」の前の四部休符から打ち上前の緊張感を表現できる。この1拍にどのように思いを込めるか考えて歌うこともできる。

<34小節から>

3度の和音が中心となっており、きれいに音が重なる美しさを楽しむ。

<40小節から>

フィナーレ「愛を込めて」「夢をのせて」思いが旋律の上昇と共に花火が打ち上がる様子を表現できる。

かけ声「5 4 3 2 1!」「いけー!!」は、全身で力いっぱい声を出し、世界に自分たちの思い、人々の思いを届けるパワーを込めて歌い上げることができる。



【フェニックス（同声二部合唱）】（小学校高学年向け）

< 1 小節から >

前奏なしで3度の和音から歌い出すことにより、フェニックスがよみがえる様子を表現することができる。頭声発声が出しやすい音高からのスタートで、指揮に集中し、仲間と息を合わせて和声の響きをつくる技能を身に付けることができる。2部合唱を経験している高学年児童にとって、歌い始めから「星のシャワー」をイメージした和声の響きをつくる楽しさと心地よさを味わうことができる。2分音符でゆったりした伴奏から始まり、6～7小節にかけて細かいリズムの伴奏と、5～6小節にかけた旋律の上昇が、フェニックスがよみがえる様子を想像し、思いを込めて歌うことができる。

< 7 小節から >

なめらかなリズムと低めの音高による旋律、静かな伴奏でフェニックスの寂しさに立ち向かう思いを想像して歌うことができる。

< 15 小節から >

ゆったりとしたリズム感のある掛け合いで、他パートの旋律と呼びかけと答えで語り合うように歌う楽しさを味わうことができる。9小節目の歌詞「信じてる」は、同じ歌詞で異なるリズムが重なる楽しさを味わうことができる。

< 25 小節から >

曲の山は、頭声発声が出しやすい音高からなる旋律で、よみがえったフェニックスが、堂々と大空を羽ばたく様子を想像し、高音域を気持ちよく歌うことができる。3度の和音→掛け合い→3度の和音へと、変化のある合唱で、音の重なり的美しさを楽しむことができる。音の重ね方による感じ方の違いを味わいながら、知識や技能を高めることができる。

< 33 小節から >

16分音符が連続する華やかな伴奏と、なめらかな旋律が重なり、次々に打ちあがる輝かしい花火の中でフェニックスが堂々と羽ばたき生まれ変わる様子を表現することができる。合唱の美しさが続く中、39～41小節目が斉唱になることにより、みんなの心をひとつにし、「もう一度 未来を描こう」という復興への思いや願いを歌声で表現することができる。思いや意図をもち、思考力・判断力・表現力を高めながら歌うことができる。

< 58 小節から >

ラララ～の斉唱から始まり、ラララ～で歌う旋律となめらかなリズムの主旋律が重なりと共に、八分音符が続く華やかな伴奏により、様々な種類の花火が打ち上がる様子を表現することができる。最後は高音域の音の重なりと華やかな伴奏により、フェニックスのよみがえりと花火のフィナーレを表現し、感動、復興、平和への思いを込めて気持ちよく歌い上げることができる。